



国保依田窪病院の理念

- 地域に密着した心あたたかな医療を実践します
- 地域における基幹病院として高度医療を提供します

年頭のご挨拶

国保依田窪病院 病院長 三 澤 弘 道



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は3月11日に発生した東日本大震災により、多くの方が命を亡くされ、未だに行方不明の方もいらっしゃいます。当院としても、4月にはJMATとして職員を岩手県大槌町に派遣いたしました。こうした自然災害は当地域でも発生する可能性があり、8月21日の長和町防災訓練には、地域の病院として50余名の職員が訓練に参加しました。今後も適切な訓練を実施し、地域における災害時の危機管理体制の充実に貢献していきたいと思ひます。

4月には病院理念、基本方針、中長期目標を5年ぶりに改定しました。病院理念は「地域に密着した心あたたかな医療を実践します」と「地域における基幹病院として高度

医療を提供します」となりました。職員の自覚を促すために、以前より能動的な表現としました。

同じく4月に地域医療連携室を開設しました。看護師、ソーシャルワーカー、事務職員などがチームとなり、入院前から退院後のことまで検討して、より有効な治療が効率的に受けられるような体制となりました。

次に新医師研修制度が施行されてから大学からの医師派遣が難しくなり、内科の医師を中心に医師不足となっていました。しかし、3名の内科医師と1名の整形外科医師が着任し、地域の病院として十分な機能を果たせるようになりつつあります。また、看護師4名、理学療法士1名、作業療法士1名が4月から働きだしました。まだ不慣れなところもあると思いますが、地域の皆様方には、優しい目で見えていただき、御指導をお願いする次第です。

看護部では、昨年両角看護部長が日本看護協会の認定看護管理者の資格を取得いたしました。看護学生教育、看護師の研修体制の充実など更なる発展が期待できそうです。

一方院内ばかりでなく、8月には「病院を支える会」が有志の皆様のもとで発足し、病院職員と意見交換等をしていただきました。今年は更に発展していくことを期待し、病院の実情を理解していただいたり、病院への要望を直接お聞きして、地域の皆様方との連携を一層強いものにしていきたいと思ひます。

最後に、今年は辰年ですので縁起が良い年になることを期待しています。春先には電子カルテが更新され、病児保育が可能となる院内保育所増改築工事も完成し、病院の機能も充実していくことでしょう。職員一同、地域の皆様方が安心して生活できるように頑張る所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。

本年が素晴らしい1年になりますように心から御祈念申し上げ、年頭の挨拶とします。

看護師・保健師募集のお知らせ

●地域医療を担う看護師・保健師を募集中！

●再就職支援も充実！

子育てなどで看護師の業務にブランクがあり不安がある方、免許はあるけれど臨床経験が無い方など、依田窪病院看護部では、再就職を支援する教育プログラムを設け、安心して復職できるよう応援しています。

●多様な勤務時間体系にも配慮！

働く職員のワークライフバランスを支える多様な勤務形態や職場配置なども考慮し、「夜勤は出来ないけれど一日に数時間でも勤務したい」というパートの方も歓迎しています。

●中途採用の方の研修充実

年度途中で入職される方対象の研修プログラムを充実させました。安心して勤務していただけるよう多方面から支援いたします。

上記問合せ先 総務課 電話：0268（68）0036

◇内科に2名の医師が着任！

●11月に須山医師が当院へ20年ぶりに着任しました。

◎須山医師からのひと言

依田窪病院は20年ぶりで、信州も17年ぶりです。
地域医療に貢献できるように、頑張りたいと思います



担当科：内科

須山 和弘 医師

出身：松本市

趣味：犬との散歩

◎経歴

昭和59年昭和大学医学部卒業、信州大学第二内科入局、昭和60年国立松本病院内科勤務、昭和61年国立循環器病センター心臓内科レジデント、平成元年信州大学第二内科、平成2年国保依田窪病院内科、平成3年信州大学第二内科、平成6年国立循環器病センター心臓内科勤務を経て、平成23年11月より依田窪病院勤務

●12月に松本市出身の小岩井医師が着任しました。

◎小岩井医師からのひと言

「ストレスは人生のスパイスである」という言葉をかみしめつつ、日々を過ごしたいです。
地域の皆様のお役に立てるよう努力するつもりです。

担当科：内科

小岩井 俊彦 医師

出身：松本市

趣味：クラシック音楽の鑑賞（特にオペラ、中でもプッチーニの諸作品を好んで聴いています）

◎経歴

昭和58年信州大学医学部を卒業後、同大学第二内科に入局、大学及び関連病院にて、臨床・研究活動に従事した他、長年にわたり産業医も経験し、平成23年12月より依田窪病院勤務。



◆病院事業

○医療ガス研修会



医療ガス研修会

10月28日(金)、職員を対象とした「医療ガスの震災対応」と「医療ガスの取り扱い」について研修を行いました。実際に酸素ボンベを使い、取り扱い方について再確認することができました。

○病診連携症例検討会

11月10日(木)、信州大学大学院医学系研究科循環器病態学の教授 池田宇一先生をお招きし、「心筋梗塞を予防するためには」をテーマにご講演を賜りました。

池田先生は循環器のご専門で、国に先駆けて先端心臓血管病センターを設立し、心臓血管病の最先端治療を実践、国際的な水準をリードする医療を提供しています。冬場は心筋梗塞の患者が増えます。予防に向けた取り組みを行うにあたり、非常に参考となるお話を伺う機会となりました。



病診連携症例検討会

○病院懇談会



病院懇談会 長久保地区

病院懇談会を11月12日(土)に長久保地区(長門町民センター集会ホール)で開催しました。

三澤院長から「腰痛について」と「病院の状況と将来」について講演し、また、ご参加された方からのご意見に応える質疑応答が行われました。

今後につきましても、懇談会の内容を変え開催して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○院内教育研修会

11月25日(金)、上田保健福祉事務所、健康づくり支援課の牛山和美さんをお招きし、「防煙・分煙・禁煙を考える」をテーマに研修を行いました。研修では、たばこの害について職員が再認識し、また、測定機(たばこの煙に含まれる200種類の有害物質の一つである一酸化炭素を、どのくらい体内に取り込んでいるか)による測定を行い、喫煙の職員は、考えさせられました。



院内教育研修会

外 来 診 療 担 当 医 表

緑字は予約のみです。 ■ は休診です。

2012年1月更新

診 療 科	火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総 合 診 療 科	小河原	江 副	小河原	小河原	江 副	小河原	小河原	江 副	小河原	交代制 ※1
内 科	竹 中 (循環器)		越 知	白 川 (2・4週)	竹 中 (循環器)	白 川	竹 中 (循環器)		須 山	交代制 ※1
	堀 込 信 大		堀 込 須 山 小岩井		白 川 (消化器)		白 川 (消化器)		小岩井 江 副	
外 科	石 橋 小松原	石 橋	小 澤		小 澤		小 澤		小 澤 小松原	石 橋
整 形 外 科	堤 本		堤 本		太 田		由 井		滝 沢	吉 村 (3週)
	太 田 水 谷 塩 澤 由 井 池 上		池 上 古 作 (1・3週) 三 澤 太 田 滝 沢 吉 村 (2・4・5週)		水 谷 交代制 ※1 古 作		荻 原 三 澤 堤 本 太 田 水 谷		古 作 信 大 三 澤 堤 本 由 井 池 上	
小 児 科	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	信 大	森 澤
泌 尿 器 科	喜 連		喜 連		喜 連		喜 連			
眼 科	信 大				信 大		信 大		信 大	
耳 鼻 咽 喉 科									信 大	
皮 膚 科			宇 原				吉 川			
循 環 器 内 科	信 大								信 大 (1週)	
肝 臓 外 来									信 大 (2・4週)	
呼 吸 器 科				牛 木						
脳 外 科								信 大		
神経膠原病内科		進 藤						高 (1・2・3週)		
高齢者総合外来									石 橋	

附属和田診療所

	火	水	木	金	土
担 当 医 師	飯 島	飯 島	飯 島	石 橋	飯 島

午前受付時間：8：00～11：30

午後受付時間：総合診療科：14：00～16：00 内科（土）：14：00～16：00

小児科：15：00～16：30（土曜日のみ15：30～16：30） 脳外科：13：30～14：30

休診日：日曜日、月曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）、1月15日

※1：当院医師1名が交代で診療にあたります。

◆予約の変更については、14時～17時をお願い致します。

◆月1度は保険証等の提示をお願い致します。3ヶ月以上確認できない場合全額自己負担していただく場合がございます。

国保依田窪病院

〒386-0603 長野県小県郡長和町古町2857

TEL 0268(68)2036

FAX 0268(68)4034

発行 国保依田窪病院

印刷 株式会社アオヤギ印刷